

木村恵理チェンバロリサイタル

4th

—現代の音楽を弾く 新たな奏法の探求—

17-18世紀バロック時代の楽器として知られるチェンバロ。現代音楽としての作品も生み出され始めています。しかしながら作品数はごく僅かで、今回は原曲がピアノやギターの作品をとりあげ、これまでなかったチェンバロの奏法を試み、新しい響きを紡ぎ出します。情景を豊かに描いた作品の数々を映像と朗読とともにお届けします。

チェンバロ：木村 恵理 Kimura Eri

朗読：白樺 八青（ゲスト） Shirakaba Yao

〈曲目予定〉

J.S.バッハ トッカータ ホ短調 BWV914

—新しい響き—

A.ピアソラ フーガと神秘

吉松隆 道化師の雨の歌

武満徹 『森のなかで』より 『すべては薄明の中で』より

林 光 『花の図鑑』より

—フィンランドの情景—

吉松隆 アラベスク、鳥たちのコンマ、風のトッカータ、
カリヨン（鐘）（※曲目は変更になることがございます）

2025 **11/21** Fri.

会場 メニコン シアターAOI(アオイ)

名古屋市中区葵3-21-19(メニコンHITOMIホールの南向い)

① 昼の部 14:30 開演／②夜の部 18:45 開演

※2回公演 ①②は同内容 開演の30分前に開場

料金 一般 4,000 円、学生 2,000 円(全自由席)

予約 **Muse** ミュースクリエート TEL. 052-910-6700(月曜休)
create@muse-ongakukan.com

マネジメント・問合：ミュースクリエート

チェンバロ協力：武藤岩雄(ムトウハーブシコード)

映像操作：藤岡博孝

主催・企画：木村恵理

後援：名古屋音楽大学

名古屋バロック音楽協会

日本チェンバロ協会

愛知芸術文化協会(ANET)